

「自信をもつ」

■エピソード

さちこさんは5歳のはるかちゃんと2歳のゆずるくん、夫のひろしさんの4人暮らし。はるかちゃんは近所の幼稚園に通っています。

今日は幼稚園で子どもたちがおにぎりを自分でにぎるイベントがあります。

みんなでワイワイ言いながら作ったおにぎり。形もいろいろですが、子どもたちは満足そうな笑顔です。

子どもたちは「わたしの、大きいよ!!」「僕のも見てよ!先生。」と得意げな様子です。先生たちも「すてきなおにぎりだね!!」「おいしそうだね!!」と子どもたちのおにぎりを一つひとつ見ながら、声かけをしています。

さちこさんが夕食のしたくをしているときも、はるかちゃんはさちこさんに一生懸命、おにぎり作りの様子を話しています。

さちこ：「すごいね!!はるか。一人でできたのね。おうちでも作ってもらおうかな。」

はるか：「いいよ!! 作ってあげるよ。」



そのとき、ひろしさんが久しぶりに早めに帰ってきました。

ひろし：「ただいま~。」

さちこ：「あらっ、今日は早いのね。」

ゆずるくんがぐずり始めたので、さちこさんはゆずるくんを寝かせに行きました。

はるかちゃんはひろしさんに幼稚園でのできごとを話し始めました。

はるか：「パパ、今日幼稚園で、一人でおにぎり作ったんだよ! パパにも作ってあげようか?」

ひろし：「へえ~、それはうれしいなあ。」

その夜、ひろしさんとさちこさんは、はるかちゃんの話をしています。

ひろし：「はるかは自信満々で、にぎってくれたぞ。」

さちこ：「一人でおにぎりをにぎったのが、かなりうれしかったみたいよ。」

ひろし：「僕は子どもの頃におにぎりなんてにぎったことなかったけど、やればできるものなんだね。」

さちこさんのひとりごと



うれしい反面、この次は包丁で切りたいとか言い出すんじゃないのかな……。

2歳の子もいるし、まねをしたら危ないな……。

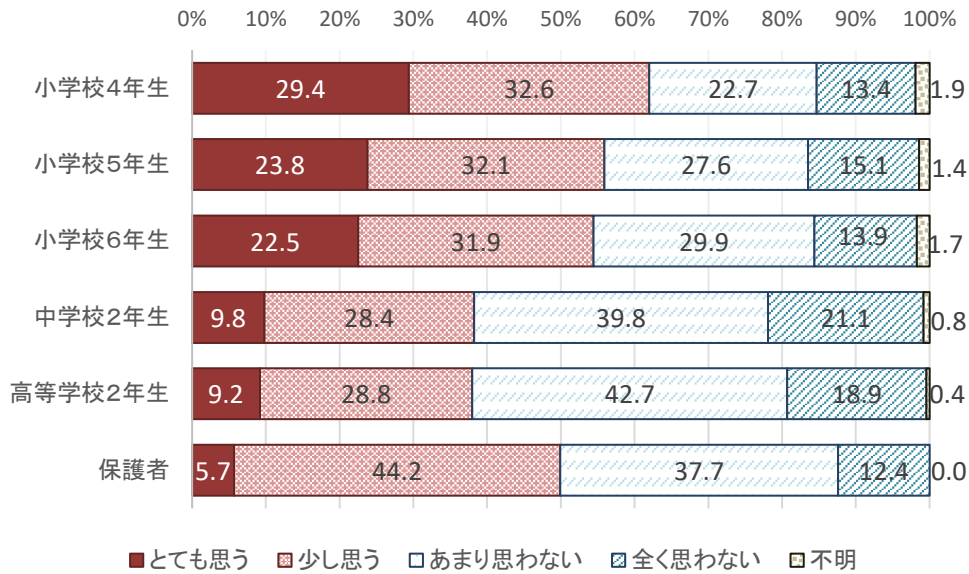
でも、片づけはさせたいわ。

グループワーク

- ① 食事づくりや家の手伝いなどで、子どもが何かしていることはありますか？
- ② さちこさんのひとりごとについて、どう思いますか？
- ③ 子どもから「〇〇がしたい!」と言われたとき、どのようにしていますか？
- ④ 子どもが自信を持つようになるには、どうしたらよいでしょうか？アイデアや工夫などを、話しあってみましょう。

■ 参考資料

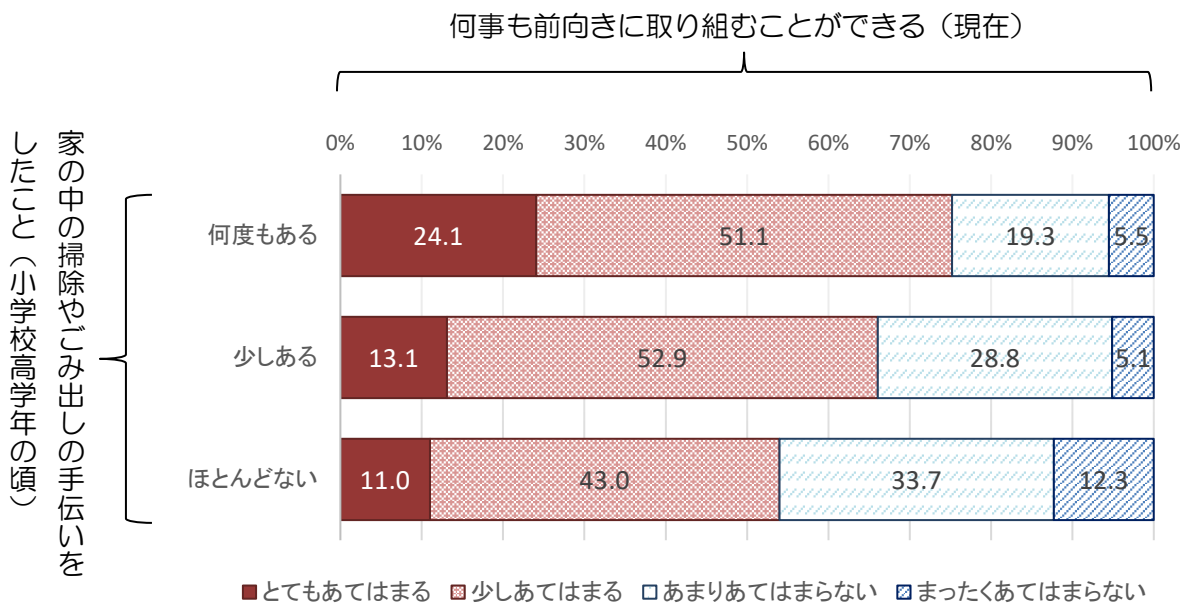
＜今の自分が好きだと思う人の割合＞



資料：小学生・中学生・高校生は「国立青少年教育振興機構『青少年の体験活動等に関する意識調査（平成 28 年度調査）』（平成 31 年 2 月）p.66」、保護者は「文部科学省『家庭教育の総合的推進に関する調査研究—子供の生活習慣と大人の生活習慣等との関係に関する調査研究—』（平成 31 年 3 月）p.44」をもとに作成

＜子ども（小学校高学年）の頃に家の中の掃除やごみ出しの手伝いをしたかどうかと、大人になって、何事も前向きに取り組むことができるかどうかの関係＞

（20代から60代の方への調査結果）

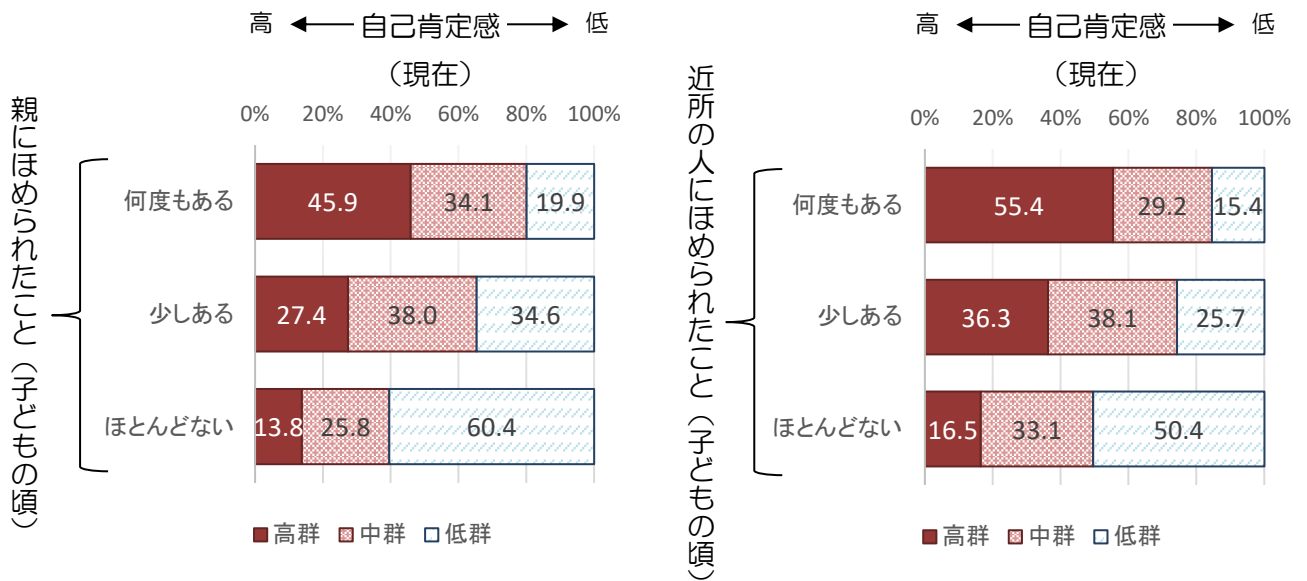


資料：国立青少年教育振興機構「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」（平成 30 年 3 月）p.6 より引用

■参考資料

＜子どものころにほめられた経験と、自己肯定感の関係＞

(20代から60代の方への調査結果)



資料：国立青少年教育振興機構「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」(平成30年3月) p.73~74より引用

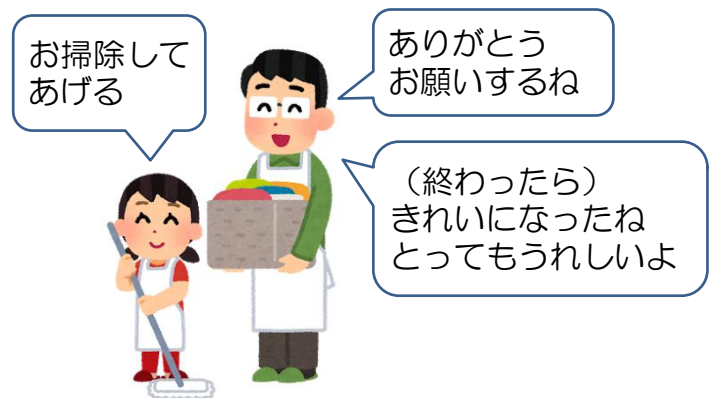
●子どもとの関わり方の例

子どもがやりたいお手伝いを認め、感謝を伝える

お手伝いをして、それに対して感謝されることで、意欲や自信、自尊心が育まれます。

子どもはお手伝いをしたがりです。自分で思いついたことを大人に認めてもらえると、自律性が育まれます。また、相手に感謝されることで、子どもは自分が「できる！役に立つ！」と思い、もっと人の役に立つことができるようになると思います。

ただし、ごほうびなどをあげると逆効果になるので、過剰にほめることは注意しましょう。



資料：大阪府教育委員会「乳幼児期に育みたい！ 未来へ向かう力」(令和2年3月) p.8